

「子どもの心」の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医のための研修テキストの作成について

(奥山委員)

## 研修テキスト目次

### <総論>

#### 1. 理論 小児神経+児童+乳幼児

##### 1) 子どもの発達

(1) 神経発達 (小児神経) 前垣義弘

(2) こころの発達 (児童) 水田一郎

##### 2) 子どもの発達の定型と異常 (児童) 長尾圭造

##### 3) 家族の関係性および機能 (愛着、母子相互作用を含む) (乳幼児) 青木豊

##### 4) 子どもの精神障害に関する生物学的要因と心理・社会的要因 (児童) 十一元三

#### 2. 診断 小児神経+小児精神神経

##### 1) 診断面接

(1) 子どもへの面接法 (小児精神神経) 塩川宏郷

(2) 親への面接法 (小児精神神経) 塩川宏郷

##### 2) 神経学的な診察 (小児神経) 桜川宣男

##### 3) 所見のまとめ方 (小児精神神経) 塩川宏郷

##### 4) 医学的補助検査 (小児神経) 相原正男

##### 5) 知能検査・発達検査の種類とその利用の仕方 (小児精神神経) 汐田まどか

##### 6) 診断体系 (DSM、ICD など) と鑑別診断の重要性 (小児精神神経) 汐田まどか

#### 3. 治療 児童

##### 1) 治療の選択 西村良二

##### 2) 心理・社会的治療 山崎 透

##### 3) 親ガイダンス 岩坂英巳

##### 4) 薬物療法 (主な薬物の作用・副作用) 岡田 俊

##### 5) 療育 高橋 脩

##### 6) 入院治療の適応 清家洋二

### <各論 I. 障害の分類 (診断基準・鑑別診断・疫学・治療・予後) >

#### 1. 発達障害 小児神経+児童

##### 1) 発達障害総論 (児童) 神尾陽子

##### 2) 精神遅滞 (小児神経) 山内秀雄

##### 3) 広汎性発達障害 (児童) 本田秀夫

##### 4) 特異的発達障害・学習障害 (小児神経) 稲垣真澄

5) ADHD (小児神経) 小野次郎

2. 小児期および青年期に通常発症する他の障害 小児精神神経+乳幼児+思春期青年期

- 1) 排泄の障害 (小児精神神経) 帆足英一
  - (1) 遺尿症・夜尿症
  - (2) 遺糞症
- 2) チック障害 (小児精神神経) 宮島祐・星加明德
  - (1) トウレット障害
  - (2) 慢性運動性または音声チック障害
  - (3) 一過性チック障害
- 3) 哺育・摂食の障害 (乳幼児)
  - (1) 異食症・その他の哺育・摂食の障害 野邑健二
- 4) 分離不安障害 (小児精神神経) 山崎知克
- 5) 選択性緘黙 (小児精神神経) 山崎知克
- 6) 反応性愛着障害 (乳幼児) 小石誠二
- 7) 常同運動障害 (乳幼児) 若子理恵
- 8) 破壊的行動障害 (思春期青年期)
  - (1) 反抗性挑戦性障害 渡部京太先
  - (2) 行為障害 近藤直司

3. 心身症および身体化表現性障害 小児心身

- (1) 心身症 (総論) 富田和巳
- (2) 個別の心身症
  - (1)起立性調節障害 田中英高 (\*)
  - (2)過敏性腸症候群 島田 章 (\*)
  - (3)気管支喘息 赤坂徹 (\*)
  - (4)過換気症候群 小柳憲司 (\*)
  - (5)慢性頭痛 (片頭痛、緊張性頭痛など) 安島英裕 (\*)
  - (6)消化性潰瘍 竹中義人 (\*)
  - (7)心因性嘔吐 岡田 (土居) あゆみ (\*)
  - (8)非器質性視力障害 石崎優子 (\*)

2) 身体表現性障害

- (1) 転換障害 稲垣 由子
- (2) 心気症 氏家 武 (\*)
- (3) 身体醜形障害 村山 隆志 (\*)

- (4) 疼痛障害 汐田 まどか(\*)  
(5) 身体化障害 二宮 恒夫(\*)

4. 身体疾患による精神症状 小児神経+小児心身  
1) 神経疾患による精神症状 (小児神経) 佐々木征行  
2) その他の身体疾患による精神症状 (小児心身) 藤本 保  
3) 治療による精神症状 (小児神経) 原 仁
5. 摂食障害 思春期青年期+小児心身  
1) 神経性食欲不振症神経性食欲不振症  
①若年期発症 (小児心身) 井口 敏之  
②思春期発症 (思春期青年期) 生田 憲正  
2) 神経性大食症 (思春期青年期) 白波 瀬丈一郎  
3) その他の摂食障害 (思春期青年期) 生田 憲正
6. 睡眠障害 (小児神経) 神山潤  
1) 睡眠異常  
① 不眠・過眠・ナルコレプシー・睡眠リズムの障害  
② 呼吸関連睡眠異常  
2) パラソムニア  
① 睡眠時遊行、夜驚症、悪夢
7. 不安の障害 児童  
1) 全般性不安障害 (小児の過剰不安障害) 飯田 順三  
2) 強迫性障害 小平 雅基  
3) 恐怖障害 朝倉 聡  
4) 社会不安障害 渡辺 京太  
5) パニック発作・パニック障害 猪子 香代  
6) 外傷後ストレス障害・急性ストレス障害 笠原 麻里
8. 衝動制御の障害 小児精神神経 小林繁一  
1) 抜毛癖  
2) 放火癖
9. 適応障害 児童 田中 哲

10. 解離性障害 児童 村瀬 聡美

11. 感情の障害 児童

1) うつ・感情調整障害 傳田 健三

2) 双極性障害 棟末 俊夫

12. 統合失調性障害 思春期青年期

1) 統合失調症 松田 文雄

2) 短期精神病反応 大高 一則

13. 物質関連障害 思春期青年期 交渉中

14. 子どもの性同一性障害 児童 横山 富士男

<各論 II. 注目すべき子どもの問題および状況>

1. 不登校・いじめ・引きこもり 児童+小児心身

1) 不登校の早期対応 (小児心身) 村上 佳津美

2) 不登校・引きこもりの鑑別診断 (児童) 井上 洋一

3) いじめ問題への対応 (小児心身) 河野 政樹 (\*)

4) 引きこもりへの対応 (児童) 近藤 直司

2. 子ども虐待および養育上の問題への対応 乳幼児

1) 子ども虐待の種類 牧 真吉

2) 子ども虐待対応の制度(法律解説を含む) 牧 真吉

3) 子ども虐待の発見と通告 牧 真吉

4) 養育問題家族のアセスメント 奥山 眞紀子

5) 虐待などの成育環境による子どものこころの問題とそれへの対応 奥山 眞紀子

6) 親・家族への支援 杉山 登志郎

7) 子ども虐待の予防 杉山 登志郎

3. その他のトラウマおよび喪失への対応 小児精神神経 奥山 眞紀子

1) 災害時の対応

2) 一般犯罪被害を受けた子どもと家族への対応

3) 性被害を受けた子どもと家族への対応

4) 喪失体験をした子どもと残された家族への対応

4. 発達障害者支援法と発達障害の早期発見・介入 小児神経 石崎 朝世

- 1) 発達障害者支援法および制度
- 2) 発達障害の早期発見・介入
- 2) 発達障害の療育

<各論Ⅲ. 連携>

1) 医療間連携 児童

(1) 一般小児科・精神科との連携・子どものこころの専門診療機関との連携 大石 聡

(2) 他科との連携・チーム医療 佐藤 真理

2) 他機関と連携 小児精神神経 北山 真次

他機関との連携の方法

保健機関、療育機関、学校、保育園・幼稚園、児童相談所、警察・司法、NPO

# 「第1回子どもの心の診療医専門研修会」

## テーマ「発達障害を考える」

主催：子どもの心の診療関連医学会連絡会ワーキンググループ

後援：厚生労働省

開催日時：3月17日（土曜） 9時15分～16時30分

開催場所：国立成育医療センター・研究所2F セミナールーム、

参加対象者：下記6医学会のいずれかの会員である医師 先着100名

会費：6000円

## プログラム

9:15-9:30 オリエンテーション

開会の挨拶 厚生労働省

9:30-10:20：「発達障害診療の実際：診断面接と鑑別診断」 塩川宏郷（小児精神神経学会）

10:30-11:20：「学習障害の診断と検査法」 杉田克生（小児神経学会）

11:30-12:20：「広汎性発達障害の早期発見と療育」 野邑健二（乳幼児医学心理学会）

13:30-14:20：「発達障害児の学校不適応」 富田和巳（小児心身医学会）

14:30-15:20：「発達障害のクリティカル・ポイントとしての思春期」 齊藤万比古  
（思春期青年期精神医学会）

15:30-16:20：「成人期のADHD」 松本英夫（児童青年精神医学会）

備考：最後に受講修了書をお渡しします

申込方法：以下の事項を記載の上 [ishido-k@ncchd.go.jp](mailto:ishido-k@ncchd.go.jp) にメールで申し込んで下さい。

記載事項：名前、所属、診療科、住所、メールアドレス、電話番号、ファックス番号

申込期間：1月20日～2月10日（この期間以前の申し込みはお受けいたしません）

\* メール送信後数日以内に受信お知らせが届かないときには再度メールしてください。

\* 2月20日頃に参加確定のメールを致します。